



東京バプテスト神学校 2025年度

「後期公開講座」のご案内

月曜

礼拝学Ⅱ

講師 こ かい もと 小海 基 (日本基督教団荻窪教会)

ここで扱うのは特定教派の「礼拝学」でなく、世界の諸教派が今、どんな「礼拝改革」をしようとしているかという問題です。第1次大戦の従軍牧師たちが教派によって礼拝があまりにも違っていることに驚き、突合せをしていったことが近代以降の「典礼刷新運動」、「礼拝改革」の始まりと言われていいます。エキュメニズムの発展の中で共同の礼拝や相互陪餐の模索も始まっていきます。1982年のWCCが出した「リマ文書」、「リマ典礼」はその一つの結実です。本講前半では礼拝現場で何が問題となっているかを学び、後半ではユダヤ教からキリスト教各教派の礼拝を概観します。



毎週月曜日

19:00~20:40

<テーマ> 諸教会の礼拝改革が目指しているもの

1	10月 6日	今日において、礼拝は何を意味するか。WCCの礼拝における民族色の問題
2	10月 20日	結婚式、離婚式と性差別の問題等「礼拝と差別 1」
3	10月 27日	洗礼と「障害者」差別の問題等「礼拝と差別 2」
4	11月 10日	聖餐式と部落差別の問題等「礼拝と差別 3」
5	11月 17日	洗礼の担い手（職制）と性差別の問題等「礼拝と差別 4」
6	12月 1日	礼拝の歴史「1. 旧約・新約・初代教会の礼拝」
7	12月 8日	ユダヤ教（過ぎ越しの祭り）旧約の神殿礼拝、ディダケー、ユスティノス、ヒッポリトス等
8	12月 15日	礼拝の歴史「2. ミサ・ガリア・ローマ典礼」
9	12月 22日	カトリックの典礼確立史
10	1月 5日	礼拝の歴史「3. ルター・ツヴィングリ・カルヴァン・英国国教会」
11	1月 19日	
12	1月 26日	礼拝の歴史「4. 東方正教会」
13	2月 2日	
14	2月 9日	礼拝の歴史「5. クエーカー・バプテスト・（シェーカー・アーミッシュ）ノン・リタージェの流れ」
15	2月 16日	総まとめ

テキスト

【テキスト】レジュメを配信します。

後援会受講であれば、公開講座以外の平常科目も半額で受講できます（単位取得なし）。
詳細は神学校ホームページよりご確認ください。

【月】旧約聖書学Ⅱ（講師：日高嘉彦） 【火】神学実践（講師：濱野道雄） 【木】ヘブル語Ⅰ（講師：城倉啓）
【金】説教学Ⅱ（講師：片山寛） 【金】キリスト教音楽史（講師：星野孝子、山崎美奈）
【ビデオ講座】キリスト教史（講師：内藤幹子） ギリシャ語Ⅱ・ヘブル語Ⅱ・アラム語（講師：城倉啓）

東京バプテスト神学校 2025年度

火曜

宣教学

講師 のぐち ひゅう まん 野口 日宇満 (チャンディ・バプテスト教会)

日本バプテスト連盟の国外伝道の歴史を振り返りつつ、教会が実際に宣教師を送り出し、祈り、支えることの恵みと課題について神学的な議論を深める。その際、長い植民地支配を受けた歴史をもち、世界で最も多くのイスラム教徒が暮らす多民族国家インドネシア共和国における宣教の歴史を特に視野に入れる。

また宣教の視点から旧新約聖書を読むことによって、教会が宣教の民として生きるとはどういうことかを探求する。その目指すところは、教会がこの世界に何を目指して存在しているのかという教会論の本質に対する考察を深めることであり、何を伝えるのかという福音の本質に対する考察を深めることである。そしてその考察は、将来の牧会や奉仕において適用されていかなければならない。また現代の世俗化した文化や多元主義の状況において、確信をもって福音の真理を宣べ伝える力を養うことを目指す。講義は、基本的にテキストに沿って進められ、分担してテキストの要約を発表する。



毎週火曜日

19:00~20:40

<テーマ> インドネシア宣教の実践を通して

1	10月 7日	オリエンテーション
2	10月 14日	バプテスト連盟の国外伝道の歩み。女性連合との協働。
3	10月 21日	クリストファー・J・H・ライト『神の宣教 第3巻』第14章 「旧約の幻における神と諸国民」
4	10月 28日	同上 第15章 「新約聖書の宣教に見る神と諸国民」
5	11月 4日	レスリー・ニュービギン『宣教学入門』第1章、第2章 「教会に委ねられた宣教の射程」「権威の問題、何の権威によって宣教するのか」
6	11月 11日	同上 第3章 「三位一体の神の宣教、三位一体論の宣教的理解」
7	11月 18日	同上 第4章 「何を宣べ伝えるのか。『神の国』の宣教的理解」
8	11月 25日	同上 第5章 「キリストの働きの継続としての宣教。キリストの臨在と神の国の現存との一致」
9	12月 2日	同上 第6章 「聖霊の力と世界宣教」
10	12月 9日	同上 第7章 「神の普遍性と福音の特定性」
11	1月 6日	同上 第8章 「神の正義のための行動としての宣教」
12	1月 13日	同上 第9章 「教会成長、改宗、文化」
13	1月 20日	同上 第10章 「諸宗教の中の福音、宗教間対話の可能性」
14	1月 27日	地域教会が実際に宣教師を送り出し、祈り、支援するに当たった恵みと課題。(講師:末盛桜子)
15	2月 3日	まとめ

テキスト

【テキスト】レスリー・ニュービギン『宣教学入門』日本キリスト教団出版局、2010年。(各自で購入する。)

【参考書】クリストファー・J・H・ライト『神の宣教 第1巻、第2巻、第3巻』
東京ミッション研究所、2016年。(購入の必要なし。)

後援会の会費が **月々500円から** ご支援いただけるようになりました。



ホームページの「後援会月々支援」のページで、クレジットカードを使ってご支援いただけます。
スマホやタブレットからお手続きができますので、ぜひ皆様のお祈りとご支援をお待ちしています。

◀ **今すぐアクセス!** <https://tbts.jp/online-shien/> (後援会月々支援ページ)

後期公開講座（オンライン）

木曜

新約聖書学 II

講師 たか はし ひろ や 高橋 周也（豊前キリスト教会）

この講座では、死のテーマを中心として新約聖書に取り組みます。イエスの死は、新約聖書の中心的な事柄である一方で、「聖書全体に共通な死の理解といったものは存在しない」（ユンゲル）のです。また、キリスト教は、2000年間、諸文化、思想、あるいは時代状況や周辺世界の影響を受けながら、あなたを含む多様な人びとを介して継承されてきました。聖書自身も、神と人、人と人との語りの足跡です。

よって、受講生には、あらゆる先入観からほどかれ、自身を再認識することが求められます。講義は知識の一方的な伝達ではなく、講師と受講生がともに問いを深める「学びの共同体」となることを目指して行われます。小グループでの対話、釈義演習、「問いの共有ノート」の記録などを通じて、離れていても共にある時間を大切にしましょう。多様な応答を歓迎し、沈黙や迷いも学びの一部と捉えます。受講にあたり最もご準備いただきたいのは、ありのままのあなたです。



毎週木曜日

19:00~20:40

<テーマ> あなたの信仰はどこから？

1	10月 9日	はじめに：私たちはなぜ「死」を学ぶのか	オリエンテーション・自己紹介
2	10月 16日	聖書における死をめぐる語りの多様性	講義 + 対話「私の信仰における 死生観」
3	10月 23日	パウロ神学における死①（1テサロニケ4章） キリストの死から共同体の励ましへ	テキスト読解 + 釈義ワーク + 分かち合い
4	10月 30日	パウロ神学における死② 復活の信仰（1コリント 15章26節） 死の力、神との関係性という視点での死	様式史の導入とグループ釈義
5	11月 6日	ラザロの死、マルタ・マリアとともに涙するイエス （ヨハネによる福音書11章）	講義 + 「弔い」のイメージについて話す
6	11月 13日	死者と生者の対話（ルカ16章）	読解 + ロールプレイ討論
7	11月 20日	イエス自身の死 （マタイによる福音書26章、マルコによる福音書14章）	体験的読解と共同解釈
8	11月 27日	死の理解の歴史的変遷 「復活問答」（ルカによる福音書20章）	講義 + 死をめぐる神学的問いについて
9	12月 4日	日本宣教における「死」の位置づけ 小発表① 「私の死生観と聖書」	講義 + 受講生発表と対話
10	12月 11日	教会の実践：死と葬儀	葬儀・記念・共同体についての分かち合い
11	1月 8日	聖書釈義の実践① 釈義演習：受難物語	講義 + 実践演習 (小グループでの分かち合いと釈義ワーク)
12	1月 15日	聖書釈義の実践② 釈義演習：復活物語	講義 + 実践演習 (小グループでの分かち合いと釈義ワーク)
13	1月 22日	教会で死について語り合う	死にまつわる教会の実践や これからの宣教を考える
14	1月 29日	小発表② 「今、私が読みたい死の物語」	発表・対話 + 授業への応答 レポート作成への準備
15	2月 12日	振り返りとまとめ	各自の問いと学びを分かち合う

テキスト

【テキスト】『聖書 聖書協会共同訳』日本聖書協会ほか、複数の翻訳を参照する準備をしておいてください。
【参考書】第1回目の講義で紹介いたします（購入の必要はありません）。

2025年度 後期公開講座（オンライン）申込書

I. 受講科目（□に印をつけてください）

- | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 月曜 「礼拝学Ⅱ」 | <input type="checkbox"/> ライブ通信 | <input type="checkbox"/> ビデオ通信 |
| <input type="checkbox"/> 火曜 「宣教学」 | <input type="checkbox"/> ライブ通信 | <input type="checkbox"/> ビデオ通信 |
| <input type="checkbox"/> 木曜 「新約聖書学Ⅱ」 | <input type="checkbox"/> ライブ通信 | <input type="checkbox"/> ビデオ通信 |
| <input type="checkbox"/> 平常科目： | <input type="checkbox"/> ライブ通信 | <input type="checkbox"/> ビデオ通信 |

※平常科目は“後援会受講”のみ申し込みできます。

※ライブ通信はzoom経験者のみ受付します。 / 部分受講は受付できません。

II. 所属（□に印をつけてください） ※複数回答ナシ（①～③のいずれかに印を付けてください）

- | | | | |
|--|----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ①後援会受講（受講料半額） | <input type="checkbox"/> 入会・更新希望 | <input type="checkbox"/> 入会済み | <input type="checkbox"/> 月々支援 |
| <input type="checkbox"/> ②一般受講 | <input type="checkbox"/> 単位不要 | <input type="checkbox"/> 単位取得希望 | （※詳細は事務局までご相談ください。） |
| <input type="checkbox"/> ③在学生 | <input type="checkbox"/> 本科 | <input type="checkbox"/> 教会音楽科 | <input type="checkbox"/> 専攻科 |

III. 申込者

（ふりがな）

氏名：

郵便番号：〒 _____ 住所： _____

電話番号： _____ 所属教会： _____

Eメールアドレス： _____

◆教会共同受講（通信事務費免除、原則2名以上から受付）

※お申込みの際は神学校ホームページから配布する**共同受講用の申込書（Excel）**をご利用ください。

※締切日を過ぎてからの申し込みは受付できませんので、個人受講でお申し込みください。

参加費（1講座につき）

- 一般受講：受講料 30,000 円
- 在学生：受講料 25,000 円
*通信受講は+5,000円の通信事務費が必要です。
- 後援会受講：受講料 17,500 円
（通信事務費含む、但し単位取得不可）
*後援会会員になるためには「年会費 5,000 円」が必要です。
*後援会年会費は献金日から1年間有効で、「払込金受領書」を領収書とさせていただきます。

教会共同受講・参加費（1講座につき）

- 受講料 15,000円 + 後援会年会費 5,000円
*教会共同受講は原則2名以上です（通信事務費免除）。
受講は公開講座に限ります。



詳細は
神学校ホームページにて
ご確認ください。

tbts.jp

検索



<教会共同受講> 申込締切日 **2025年9月24日(水)**

<個人受講> 申込締切日 **2025年9月30日(火)**

※費用については事務局から請求書をお送りしますので、それを確認してから送金してください。

お問合せ

月・火・木・金
15時～21時

〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 東京バプテスト神学校事務局

●E-mail : seminary@tbts.jp ●TEL : 03-3947-5141 ●FAX : 03-3947-5145